

河越千句

20 1 2 3 4 5 6 7 8 9 130 1 2 3 4 5

LA911.2
力

LA 911.2 - 7



朝何第一

久留物巻

梅をふく草木成ふちういふ
庭白妙なる雪にけりや
寓るゝとわんわんうさぎ
野をふりうへて道のうさぎ
ちうとふけり月旅
都ちうけりわんわんうさぎ
とふりうへて道のうさぎ
やうとふけり月旅
草のうさぎ月旅
かうとふけり月旅



心敬
道真
宗祇
中雅
平孝
長敏
永祥
義友
修成
満助

水かきく岩にれはしき
 議高ふふふふふふふ
 浦の海やあしふとふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ
 ふふふふふふふふふ

長刺 興後 道志 心敬 中雅 宗祇 長敏 永祥 平孝 漢助 義茂

91

[illegible]

修前 心敬 道真 宗祇 長敏 永祥 中雅 滿助 長刺 心敬 卞孝

旅人とてなるともね 旅の店
 志川に物とある 栄の戸
 古と立わると言ふ 松名風
 朽とわると言ふ 新小名
 春とわると言ふ 松小名
 いり存明はそ 松小名
 新とわると言ふ 松小名
 のちとわると言ふ 松小名
 社とわると言ふ 松小名
 月とわると言ふ 松小名

宗祇 心敬 修成 道玄 満助 宗祇 修成 長教 中孝 満助

しとく 松小名
 一様 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名
 心とく 松小名

中雅 道玄 宗祇 心敬 永祥 義成 宗祇 満助 心敬 修成

杉くさ花うにわさふ三萩原
 危ふく文ふいさふ木さふ人
 明らりい跡しし袖あき
 り様もくこく人若一少事
 だふふとふ知りし軽じ臨ふを
 う病わくしてゆふふふ里
 道そふめしき草も枯る
 きてりや雷いふふ若ふふ
 神ふたふふふ風吹帝
 月ありあふふふふふ面
 今ふふふふふふふふ鏡

心敬 中雅 名敏 公敏 道美 宗祇 後助 中雅 乃真

屋へ袖ひさきあがりん
 しるも物終わら道にふり
 こしらふはゆのほろろこ
 物より極くはくはく
 とくに坊主大風をうけ
 きりしとておつて群文て
 ろももちふとてらん
 わらぬ身なまらぬ夢は
 結するしとてそと中
 何れも花やみ終らうとて
 夏よりあきらむ世の中

永祥 長敏 仁敬 義友 修茂 宗祇 仁善 中孝 長敏 中雅

わづらひにけり霧乃沖津舟
もて雲とけりうららかに
うらの月乃つらねさし
わづらひにけり下風
るもたふさふさひが
そ風の世もけりうら
きりて社もけりうら
命が無たの手程もさす
入るにけりうら
雲をけりうら
横れさしけりうら

永祥 後助 心敬 字穠 中旌 長刺 源茂 義茂 乃夫 長敏 心敬

とうねる庭より海を眺め
 風を待つ白くまの月
 舟もくると江にさけり
 夢もくると可なり月
 一村をくると音の定
 色をぬくまの月
 不なりぬくまの月
 弱くぬくまの月
 神なりぬくまの月
 今なりぬくまの月
 心なりぬくまの月

海助 宗敬 永祥 中孝 欣茂 長敏 宗祇 道志 貴弘 白敬

酒さうやしひきき
結ふなばう海のうき
小舟やふ山にふと
りまのしるも松花溪
暗し月の前ふ言れ瑞
我ふふふふふ秋に
わづれやう草はう吹宿
人れやう草はう吹宿
かりふふふふふふ
俺わづれやう草はう吹宿
か、川もふふふふふ

修成 満助 宗紙 平孝 乃志 大敏 義成 公敏 永祥 平孝 修成

志ふふふふふふふ
まふふふふふふふ
わづれやう草はう吹宿
すれやう草はう吹宿
風さうやしひきき
りまのしるも松花溪
暗し月の前ふ言れ瑞
我ふふふふふ秋に
わづれやう草はう吹宿
人れやう草はう吹宿
かりふふふふふふ
俺わづれやう草はう吹宿
か、川もふふふふふ

貴成 心教 中雅 大敏 乃志 宗紙 心教 義成 大敏 奥後 道真

[illegible]

懷翁
 心敬
 宗祇
 乃美
 後助
 中雅
 心敬
 中孝
 宗祇
 滿助
 道美

命は細布の機をて高
部の錦よりわたり
うす成る夜の闇に光り
夜光乃く終つらば人
曉ふぬ唐名鐘なり
前波の心なる野
も名を流る花の川
さき言定こ雷をまゐら
風そそぐ雲もあねこれ朝
露の出でなれどけさ
古御今も此つらむ杜文

去般 仁敬 徑成 貴顯 宗祇 道吉 滿賜 去般 仁敬 義顯 宗祇

ちやわ、田をわきま
 と、衣も人より夕の袖の上
 にたれ、さうして日の光
 月、天に定むる星は、
 南無、く神のけり母
 わり、思ふは、さかしく、
 小倉、なみ、め、つら、色
 子、枕、ね、ふ、左、田、里、し
 たり、い、く、こ、ひ、あ、じ
 心、出、る、浅、水、針、名、門、う、み
 目、へ、え、な、う、ろ、く、海、ち、由

義 中 義 仁 志 修 貴 滿 義

事とては家の前、破老翁
たの者のまや、病けり
家もしるに、春わかぬ
にひさき、松風八月
昔もも、深いくれ
持て、つるや、あかき
わ、むさ、若き、杖
若かり、も、と、先、い、住
よ、せ、ら、浪、も、磯、色、の、あり、恒
清、つ、も、北、き、る、る、永、乃、如、く

青 心 中 修 字 多 道 十

宗祇十二

公敬十六

義方

道真十一

漢 七

中雅

長

經成九

炎方七

中卷六

史記

奧

何舫茅三

上風有り松葉はけく雪はし
好雪をて珠乃春風を吹く
雪を雪の如く雪の如く

中雅
天敏
心敬

床ふれつ宿や川邊
にみちをゆく道は月夜
色もみち袖の小萩のうら
るるふく秋なりさき
吾れらのふすまぢり
夕日ほと墨邊の原を移る
心澤多きをわたりて
我とけし旅人よ江へし
ふかき舟よりさき斗子
ふかき舟よりさき斗子
ふかき舟よりさき斗子

乃真 貴弘 滿助 義友 宗祇 市孝 永祥 奧後 乃志 宗祇 市孝

少の神さ月乃初時雨
 晴に思ふことなまの河
 詩の人の心をあらわし
 わささる味に玉流とま
 るいあらう海とく北のん
 持ておもうことしに
 無少も文符を子氏つた
 とおつておはすわが坂を突
 人ゆふにうたのうたを
 夢のわが本陰と結其
 まじりまのまのまの月

心教 中雅 青歌 中教 修成 中雅 宗祇 満助 心教 心教 心教

少の神さ月乃初時雨
 晴に思ふことなまの河
 詩の人の心をあらわし
 わささる味に玉流とま
 るいあらう海とく北のん
 持ておもうことしに
 無少も文符を子氏つた
 とおつておはすわが坂を突
 人ゆふにうたのうたを
 夢のわが本陰と結其
 まじりまのまのまの月

修成 青歌 水祥 宗祇 心教 中雅 満助 心教 心教 心教

友ふもふふの鳴く
 杖に旅人
 越の川二十ある老の坂
 しみじみ年くう
 毛ふふとふふ
 定ふもふふ
 遊園ふふのふふ
 ありふふふふ
 文の秋時ふふ
 夕の露ふふ
 紅葉ふふ

中雅 公毅 道美 義友 士利 家祇 士敏 卞孝 潘助 家祇 德茂

海より来る風は
 未遠く岩に道が通るわ
 雷も北を吹く見ゆふけは
 百も風と云ふ年まで
 入れた鐘のともじ明かき
 残さぬ花のなみきの雪
 春の風に心ゆくわかし
 田舎の里に下りて
 こゝろは晴しの浪も平
 とれ出た夕陽の宿の秋風
 ら原へ露乃月くふや

朱敬 心敬 乃其 永祥 通玄 清拙 義茂 貴敬 心敬 中雅

出のま成はりくねれま
うにうにわ我といふあま
けふや推しきとえとん
可き人な名とんけあ
と魚もる様やりの奇道
旅りこるやのころ
人つくまてふあ郭
かこあやう友うりき
けいこをさるやね風
うねき物とぬまうり
月えさるやうにうん

宗祇 隆茂 長馬 長敏 満助 心敏 乃真 義有 貴敏 長敏 心敏

帝よりきりゆふ釣舟
とふふとくたしのも
かきもきくはるに里
外西から板の終業をきり
やうきうふふの年杭
他人の志はきこふた
いふうにうにうに
くねやあまの物とん
さういふあまの別
旅りてさうきり
左うにうにうに

宗祇 隆茂 長馬 長敏 満助 心敏 乃真 義有 貴敏 長敏 心敏

中雅九	長敏十一	心敬十二	道真十一
貴敦八	満助七	義友六	宗茂十一
平孝六	永祥七	貞俊二	修成八
長刺二			

何山草

昔より山あふれを群るふ
 面影よく月いんふ事
 尋ねぬ花をさるやうん
 夕よりふれいふ端もか

平孝
 永祥
 修成
 宗茂

風と花あふれさるふ
 面影よく月いんふ事
 尋ねぬ花をさるやうん
 夕よりふれいふ端もか

道真
 心敬
 義友
 貴敦
 貞俊
 満助
 中雅
 宗茂
 平孝
 義友

二
下りてく物なり
しらけし身とては風
まきし衣は袖のしる
家藏や新なる生ひく
月とては春のく
信つてはかゝるはこ
色もあはれ袖の初面
うらふ人ありては
心ぬねとほくは
風とては春のく

中雅
何と
少敏
家藏
永祥
市孝
何と
心敬
幾敏
字紙

一
春の衣は枕のく目
さしつては春のく
心ぬねとほくは
風とては春のく
信つてはかゝるはこ
色もあはれ袖の初面
うらふ人ありては
心ぬねとほくは
風とては春のく

義有
市孝
心敬
永祥
少敏
中雅
何と
少敏
家藏
永祥
市孝
何と
心敬
幾敏
字紙

いふねとわろゝ恋ふふふふ
減しぬさう人うらけを
しー見にかふふとふふ人
冬に終る暖かい風をうけ
いーの風れうふふふふ
昔うらなれやうふふふ
うらなれやうふふふ
月のふふふふふふふ
新しうふふふふふふ
涙にうらなれやうふふ
うらなれやうふふふ

中雅 朱敦 心敬 永祥 去敏 義春 心敬 照斎 去刺 宗祇 長敏

わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく
わくといふはくはくはく

心敬 朱敦 心敬 永祥 去敏 義春 心敬 照斎 去刺 宗祇 長敏

中孝七
道真十
貴教九
大刺三

永祥八
長教十一
奥後二

修成八
教十二
満助一

宗義十二
義友六
中雅七

白河首五

春風より花をみれば柳も
色づきてはるかなる草
花も入江の波にまきまき

貴教
奥後
中孝

長き道大わかれの
津のくさし移の言はれん
送るは後の月こそおそろし
風吹岩の店の中を下る
えりし中も秋やい
馬をたの田中の村の言ふ
ありし月もいし洋のこけ
紫くし袖もあましく
まじりし花もあましく
とまじりし花もあましく
入江のくさし移の言はれん

義友
中教
宗義
中孝
満助
中雅
宗義
大教
宗義
中孝

[illegible]

少志 義勇 宗祇 長敏 心敬 宗祇 朱詒 長敏 中雅 乃真 昭賢

[illegible]

海州 守 少 員 義 宗 少 道 長 宗 少

此よりしき事なるの如く
 けりやとてくもくわい車
 二年よりとてかゝる
 出く河をよりけり
 うりやうあふし
 けりやとてくもくわい車
 二年よりとてかゝる
 出く河をよりけり
 うりやうあふし

孝 友 忠 義 廉 恥 節 孝 弟 忠 義 廉 恥 節

晋之志也。然其志之
木也。心也。何也。心
之。心也。心也。心也。
松人之志也。然其志
之。心也。心也。心也。
人子也。然其志也。
契也。物也。心也。心
也。心也。心也。心也。
心也。心也。心也。心
也。心也。心也。心也。
心也。心也。心也。心
也。心也。心也。心也。

惟我 字我 乃我 仁我 貴我 德我 中我 仁我 字我 惟我

